

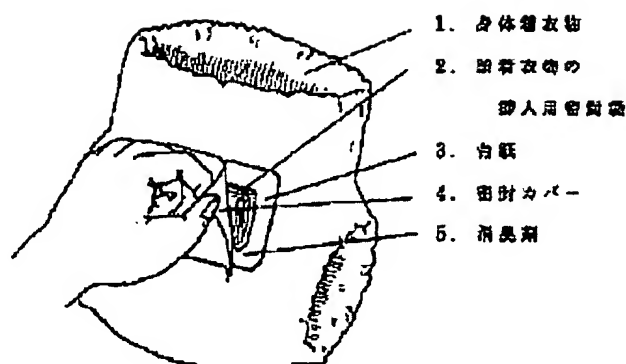
DISPOSABLE WEAR

Patent number: JP11056903
Publication date: 1999-03-02
Inventor: YOSHIKAWA AKIHITO
Applicant: YOSHIKAWA AKIHITO
Classification:
- **International:** A61F13/15; A61F5/44
- **European:**
Application number: JP19970238916 19970819
Priority number(s): JP19970238916 19970819

Abstract of JP11056903

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a disposable body wear which is disposable surely, quickly, and simply while shutting out a malodor and a stain at any time and any place.

SOLUTION: A sealing bag 2 for inserting a body wear 1 and a deodorant 5 are fitted to the body wear 1 directly or with a sealing cover 3 and a mount 4.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-56903

(43) 公開日 平成11年(1999) 3月2日

(51) Int.Cl.⁸

識別記号

F I

A 6 1 F 13/15

A 4 1 B 13/02

M

5/44

A 6 1 F 5/44

H

審査請求 未請求 請求項の数 2 F D (全 3 頁)

(21) 出願番号

特願平9-238916

(22) 出願日

平成9年(1997) 8月19日

(71) 出願人 397032035

吉川 明史

熊本市坪井5-13-33

(72) 発明者 吉川 明史

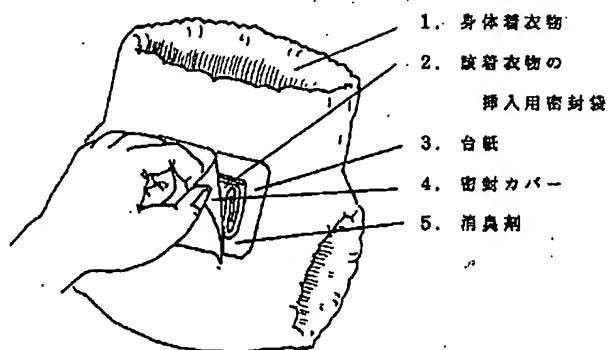
熊本県熊本市坪井5丁目13番33号

(54) 【発明の名称】 使い捨て着衣物

(57) 【要約】

【課題】 使用済み身体着衣物を、何時如何なる場合でも、悪臭と汚れをシャットアウトして確実に、手早く簡単に、処理できる使い捨て着衣物を提供する事を課題とする。

【解決手段】 1 身体着衣物に、2 該着衣物の挿入用密封袋と5 消臭剤を、直接または、3 密封カバーと4 台紙とで取り付けた身体着衣物。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 身体着衣物の任意な位置に、開閉自由な開口部を設けて折り畳んだ該着衣物の挿入用密封袋を装着した事を特徴とする使い捨て着衣物。

【請求項2】 身体着衣物の任意な位置に、消臭剤を収納し且つ開閉自由な開口部を設けて折り畳んだ該着衣物の挿入用密封袋を装着した事を特徴とする使い捨て着衣物。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明は、紙オムツ・生理用品などの身体着衣物を、使用後処理する際、悪臭や汚れに非常に困っていたものが、簡単にまた確実に処理出来る使い捨て着衣物である。

【0002】

【従来の技術】従来の身体着衣物においては、紙オムツでは汚れた部分を内側にして、付属のテープでとめるだけで捨てたり、ビニル袋の中に入れて捨てていた。また生理用品はトイレトペーパーで包んで捨てていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来の身体着衣物では、使用後、上記の様な方法で捨てていた為、汚れが多いと悪臭や汚れが漏れ出す心配があり、狭い場所での紙オムツ交換や、他人様の家で生理用品の交換は困る事が多く、特に大変だった。

【0004】その対策としてビニル袋や消臭スプレーを用意しておくにもスプレー缶は荷物になるし、ビニル袋や消臭スプレーを走行中の車のトランクなどに入れて置いて役に立たなかったり、用意していても、使い切って困る等と言った問題点が多かった。

【0005】本発明は、使用済み身体着衣物を、何時如何なる場合でも、悪臭と汚れをシャットアウトして確実に、手早く簡単に、処理して上記の例の様なトラブルから開放する事を目的としている。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明は、身体着衣物の任意な位置に、開閉自由な開口部を設けて折り畳んだ該着衣物の挿入用密封袋を装着した、又は、身体着衣物の任意な位置に、消臭剤を収納し且つ開閉自由な開口部を設けて小さく折り畳んだ該着衣物の挿入用密封袋を装着した使い捨て着衣物である。

【0007】

【発明実施の形態】本発明の実施の形態について、紙オムツにおける実施形態によって図面を参照して説明する。

【0008】図1は本発明の紙オムツを例にした斜視図を示す。1は身体着衣物で、この場合は紙オムツだが、生理用品でも使い捨てパンツでもよい。

【0009】この身体着衣物1の任意な位置、邪魔にならぬ所、例えば紙オムツでは、子どもが勝手に取り出し

難い腰の後ろなどに該着衣物1の挿入用密封袋2を直接取り付けてもよいし、また台紙3を取り付けて、密封カバー4で覆って取り付けでもよい。

【0010】更に本発明は、この台紙3と密封カバー4で消臭剤5も一緒に取り付けでもよい。消臭剤としては、フラボノイド系、両性界面活性剤型消臭剤系などが使用される。

【0011】また台紙3、密封カバー4で消臭剤5も取り付けた本発明では、台紙3から密封カバー4を剥して、該着衣物1の挿入用密封袋2を取り出して該着衣物1を収納する。この時、収納されている消臭ガス5も出て来て、悪臭を消し、該着衣物1の挿入用密封袋2の中に収納されている消臭剤5で該着衣物1の挿入用密封袋2の中の悪臭を消す。

【0012】図2は、本発明の該着衣物1の挿入用密封袋2の取付構造の一例を、紙オムツに於ける断面図で示す。

【0013】図3は、本発明の該着衣物の挿入用密封袋2に、該着衣物1を挿入、密封して該着衣物1を処理した斜視図である。

【0014】

【発明の効果】本発明は、以上説明したように構成されているので、以下に記載される様な項かを奏する。

【0015】後処理の為の該着衣物の挿入用密封袋が、確実に用意されている為、如何なる場合にも、速やかに、確実かつ簡単に汚れ物の処理が出来る。

【0016】紙オムツなど、付属のテープでとめるだけでは、悪臭や汚れの心配が大きかった。又、わざわざビニル袋を用意していても、すぐに取り出せない所に置いてしまっていたり、例えば、走行中の車内でオムツ交換と言った事態で、ビニル袋をトランクの中に置いていたりしたら大変だし、またうっかりして使ってしまうと無くなってしまうこともあった。このようなとき、瞬時に悪臭も、汚れも処理できる効果を有する。

【0017】また、女性は、生理用品を交換した場合、トイレにペーパーが少ししか無かったりすると、包んで捨てる事もできないし、ちょっとテープで止めて捨てて来る訳にはいかない。とくに、未婚の女性が未婚の男性の家のトイレで、この様な事態になったら大変な事だが、該着衣物の挿入用密封袋が付いていればなんの心配も無い。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の身体着衣物に該着衣物の挿入用密封袋を取り付けた時の、紙オムツを例とする、一実施例を斜視図で示す。本発明の紙オムツを例にした斜視図で、本発明の一実施例である。

【図2】本発明の該着衣物挿入用密封袋の取付構造の一例を、紙オムツに於ける断面図で示す。

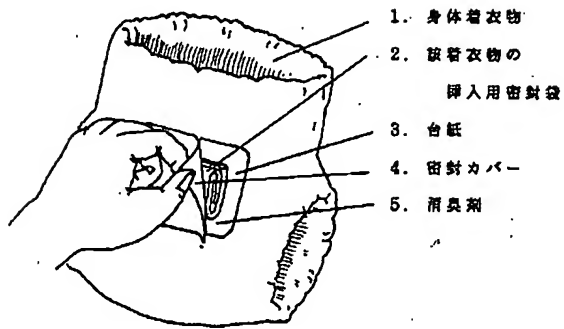
【図3】本発明に於て身体着衣物を該着衣物の挿入用密封袋で処理した場合の斜視図を示す。

【符号の説明】

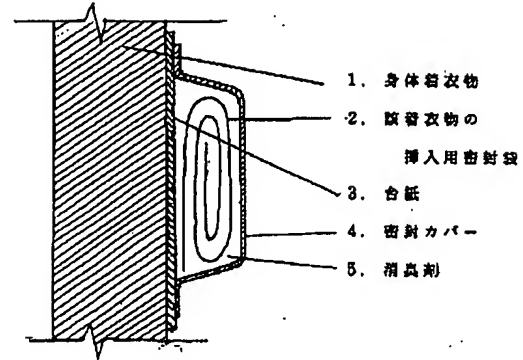
- 1 身体着衣物
- 2 該着衣物挿入用密封袋

- 3 台紙
- 4 密封カバー
- 5 消臭剤

【図1】



【図2】



【図3】

